
事業報告書
財務諸表等

令和2年度

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人 発達科学研究教育センター

I 事業の状況

令和2年度の事業状況について以下に報告する。

1. 公益目的事業

- 1) 研究助成事業（幼少年期の子どもの心身の調和のとれた発達の研究に対する助成を行う事業）

本年度当初の予算総枠500万円。

応募件数は33件。8月28日開催の選考委員会の審査に基づき、次の10件を選抜して研究助成を行った。

なお助成金の支給総額は、申請金額45万円の受賞者が一人いたため、予算未達の495万円となった。

①小林 美佳（東北大学大学院）

「子どもと両親の自閉スペクトラム症特性の関連：東北大学東北メディカル・メガバンク機構三代コホート調査にもとづく縦断的検討」

②佐藤 みのり（お茶の水女子大学大学院）

「うつ病患者とその子どもの親子関係ならびに精神的健康に関する調査」

③杉本 篤言（新潟大学大学院）

「ゲーム・ネット依存グループ心理療法によるシステム脳機能改善メカニズムの解明～脳磁図（MEG）を用いた実験系の確立～」

④高松 礼奈（京都大学大学院）

「自閉症スペクトラム症の子どもと養育者のアタッチメント形成：共感性と認知の二重プロセスモデルの検討」

⑤谷口 康祐（大阪総合保育大学）

「生物と非生物の弁別過程の発達—視線パターンを用いたロボットの認知特性の検討」

⑥チャン チーチン（沖縄科学技術大学院大学）

「より良い教師と生徒の交流を促進するための学級観察システムの開発」

⑦津田 恭充（関西福祉科学大学）

「自閉スペクトラム症の教育や療育に携わる者のもつ自閉スペクトラム症への意識的・無意識的偏見およびその干渉要因」

⑧中島 悠介（中央大学）

「視覚運動処理における抑制メカニズムの初期発達過程」

⑨バーベア・モニカ（東京大学国際高等研究所）

「幼児指導者が示す顔の表情が子どもの言語発達に果たす役割：初期発達時の認知・適応能力をより理解するための支援研究」

⑩廣瀬 愛希子（筑波大学大学院）

「夫婦間葛藤・情緒的交流が子どもの適応に与える影響 - COVID-19の影響もあわせて -」

なおこれらの研究の中間報告は、紀要「発達研究」35巻に発表する予定である。

また最終報告は、紀要「発達研究」36巻に発表するとともに、今年度行ったオンライン動画セッションで口頭発表することとする。

2) 成果発信事業

- ①平成30年度助成者の最終報告12報、令和元年度助成者の中間報告10報を掲載した紀要「発達研究」第34巻を編集、刊行した。
- ②従来行っていた助成者の最終報告についての口頭発表は、コロナ禍を避けるため、オンライン動画セッションにすることとし、専門家の助力を得てシステムを構築した。発表者の動画を参加者に配信し、参加者が視聴後、質問感想等は事務局で取りまとめ、発表者にフィードバックする方式とし、口頭発表の核心であるディスカッションの場ができるだけ確保できるようにした。この形式を続けるか否かは、今後の課題である。令和元年度助成者の、参加者の質問感想に対する回答を現在取りまとめ中である。
- ③ホームページを通じ、当財団基本情報、「発達研究」バックナンバー、「発達検査」一覧、研究助成公募要領等の情報を広く公開した。
- ④（一社）日本発達心理学会との共催の「国際ワークショップ」は、今年度は中止となった。
- ⑤ホームページを全面的に改訂した。

2. 収益事業

1) 発達検査スケールの販売

当財団開発の下記スケールを販売した。

- ① 乳幼児発達スケール（KIDS）
- ② 随意運動発達検査

販売予算850万円に対し、販売実績999万円となった。

2) KIDS改訂の是非に関する調査を実施した。

来期にさらに継続する。

以上

II 庶務の概要 (令和3年3月31日現在)

1. 理事・監事に関する事項

前代表理事 新庄茂方氏の急逝に伴い、新庄眞帆子氏が代表理事に就任した。(令和3年1月28日)

<理事>

定数：6名以上15名以内

任期：2年

現在数：11名

内訳〔常勤〕1名〔非常勤〕10名

<監事>

定数：2名又は3名

任期：4年

現在数：2名

内訳〔常勤〕0名〔非常勤〕2名

氏名		就任年月日	重任年月日	職名
新庄眞帆子	理事長 常勤	令和3年1月28日		(学)公文学園理事
雨宮 眞也	理事 非常勤	平成15年11月28日	令和2年6月18日	駒沢大学名誉教授 弁護士
新井邦二郎	理事 非常勤	平成26年6月12日	令和2年6月18日	東京成徳大学・大学院学長
大久保治男	理事 非常勤	平成22年7月1日	令和2年6月18日	武蔵野学院大学名誉学長
小澤 慎治	理事 非常勤	平成19年6月11日	令和2年6月18日	慶應義塾大学名誉教授
恩田 宗	理事 非常勤	平成19年6月11日	令和2年6月18日	元駐タイ大使
梶原 保	理事 非常勤	平成15年11月28日	令和2年6月18日	元日本興業銀行 常務取締役
喜多村孝幸	理事 非常勤	平成26年6月12日	令和2年6月18日	(一社)巨樹の会 五反田リハビリ テーション病院 副院長
西崎 清久	理事 非常勤	平成16年6月12日	令和2年6月18日	(公財)日本オペラ振興会顧問
古屋 俊彦	理事 非常勤	平成26年6月12日	令和2年6月18日	元東京電力(株)理事 ワシントン事務所長
堀越 作治	理事 非常勤	平成16年6月12日	令和2年6月18日	元(公財)森林文化協会顧問

園田 峯生	監事 非常勤	平成22年7月1日	平成30年6月5日	弁護士
近田 直裕	監事 非常勤	平成26年6月12日	平成30年6月5日	公認会計士、税理士

2. 評議員に関する事項

定数：6名以上15名以内

任期：4年

現在数：11名

氏名	就任年月日	重任年月日	職名
飯高 京子	平成22年11月1日	平成30年6月5日	東京学芸大学 名誉教授
弦間 明	平成22年11月1日	平成30年6月5日	(株)資生堂特別顧問
小林 利郎	平成22年11月1日	平成30年6月5日	元東京銀行取締役
齊藤 進	平成22年11月1日	平成30年6月5日	学習院名誉教授
佐伯 信	平成22年11月1日	平成30年6月5日	元公文教育研究会取締役
澤田 利夫	平成22年11月1日	平成30年6月5日	東京理科大学名誉教授
清水 良衛	平成22年11月1日	平成30年6月5日	元帝京平成大学教授
荘厳 舜哉	平成22年11月1日	平成30年6月5日	保育・子育てアドバイザー協会関西 理事長
遠山 耕平	平成22年11月1日	平成30年6月5日	元平成国際大学学長
戸谷 誠之	平成22年11月1日	平成30年6月5日	(独)国立健康栄養研究所 名誉所員
村岡 洋一	平成22年11月1日	平成30年6月5日	早稲田大学名誉教授

3. 職員に関する事項

区分	専任者	他機関との兼任者	合計
	有給 無給		
事務局員	5名 0名	0名	5名

4. 会議に関する事項

<理事会>

開催年月日	議案	結果
令和2年6月3日	第1号議案:令和元年度事業報告の件	可決
	第2号議案:令和元年度決算の件	可決
	第3号議案:任期満了に伴い評議員会に上申する理事候補者選出の件	可決
	第4号議案:評議員会招集の件	可決
令和2年6月18日	第1号議案:役付理事選定の件(新庄茂方氏を代表理事に選定する)	可決
令和3年1月15日	第1号議案:理事候補者1名選任の件	可決
	第2号議案:一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づく評議員会目的事項提案(評議員会の決議の省略)の件	可決
令和3年1月28日	第1号議案:役付理事選定の件(新庄眞帆子氏を代表理事に選定する)	可決
令和3年3月8日	第1号議案:令和3年度事業計画の件	可決
	第2号議案:令和3年度収支予算、資金調達及び設備投資の件	可決
	第3号議案:選考委員1名任期満了につき1名推薦の件	可決
	第4号議案:評議員会招集の件	可決

<評議員会>

開催年月日	議案	結果
令和2年6月18日	第1号議案:令和元年度決算の件	可決
	第2号議案:理事任期満了につき選任の件	可決
	第1号報告:令和元年度事業報告の件	了承
	第2号報告:令和2年度事業計画の件	了承
令和3年1月21日	第3号報告:令和2年度収支予算、資金調達及び設備投資の件	了承
	第1号議案:理事1名選任の件(新庄眞帆子氏を理事に選任する)	可決
令和3年3月23日	第1号報告:令和3年度事業計画の件	了承
	第2号報告:令和3年度収支予算、資金調達及び設備投資の件	了承

5. 登記に関する事項

変更年月日	登記年月日	登記事項
令和2年6月18日	令和2年6月19日	理事11名の重任、新庄茂方理事の代表理事重任
令和2年12月27日	令和3年2月10日	理事・代表理事 新庄茂方氏死亡
令和3年1月4日	令和3年2月10日	新庄眞帆子氏 評議員辞任
令和3年1月21日	令和3年2月10日	新庄眞帆子氏 理事就任
令和3年1月28日	令和3年2月10日	新庄眞帆子氏 代表理事就任

附属明細書

事業における重要な事項は、令和2年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 令和 3年 3月31日現在	前 年 度 令和 2年 3月31日現在	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,371,215	12,658,466	712,749
売掛金	1,210,704	881,287	329,417
商品	1,033,220	1,167,863	△ 134,643
未収金	-	281,366	△ 281,366
流動資産合計	15,615,139	14,988,982	626,157
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,055,700,000	955,700,000	100,000,000
定期預金	5,000,000	5,000,000	-
普通預金	2,300,000	100,300,000	△ 98,000,000
基本財産合計	1,063,000,000	1,061,000,000	2,000,000
(2) 特定資産			
法人会計準備資金	5,977,930	-	5,977,930
特定資産合計	5,977,930	-	5,977,930
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	-
その他固定資産合計	1	1	-
固定資産合計	1,068,977,931	1,061,000,001	7,977,930
資産合計	1,084,593,070	1,075,988,983	8,604,087
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	222,221	97,922	124,299
未払法人税等	715,800	76,100	639,700
預り金	59,491	26,973	32,518
流動負債合計	997,512	200,995	796,517
2. 固定負債			
固定負債合計	-	-	-
負債合計	997,512	200,995	796,517
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	1,047,972,150	1,047,972,150	-
指定正味財産運用益	5,977,930	-	-
指定正味財産合計	1,053,950,080	1,047,972,150	5,977,930
(うち基本財産への充当額)	(1,047,972,150)	(1,047,972,150)	-
(うち特定資産への充当額)	(5,977,930)	-	5,977,930
2. 一般正味財産	29,645,478	27,815,838	1,829,640
(うち基本財産への充当額)	(15,027,850)	(13,027,850)	(2,000,000)
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
正味財産合計	1,083,595,558	1,075,787,988	7,807,570
負債及び正味財産合計	1,084,593,070	1,075,988,983	8,604,087

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度 自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日	前 年 度 自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	(15,516,371)	(15,241,815)	(274,556)
基本財産受取利息	11,016,371	14,041,815	△ 3,025,444
基本財産運用益	4,500,000	1,200,000	3,300,000
②事業収益	(9,998,021)	(9,458,303)	(539,718)
発達検査販売収益	9,998,021	9,458,303	539,718
③雑収益	(460,444)	(198,196)	(262,248)
雑収益	460,444	198,196	262,248
経常収益計	25,974,836	24,898,314	1,076,522
(2) 経常費用			
①事業費	(18,480,167)	(18,583,244)	(△ 103,077)
研究助成費	4,950,000	5,000,000	△ 50,000
情報収集費	10,000	11,152	△ 1,152
会議費	63,541	170,899	△ 107,358
旅費交通費	177,621	422,356	△ 244,735
印刷製本費	3,564,996	3,252,820	312,176
通信運搬費	1,069,504	655,314	414,190
支払手数料	47,098	34,998	12,100
諸謝金	366,822	333,411	33,411
国際交流開催費	-	100,000	△ 100,000
広告宣伝費	86,600	86,600	-
業務委託費	990,000	1,554,000	△ 564,000
給料手当	5,963,983	5,838,963	125,020
賃借料	1,126,488	1,117,954	8,534
雑費	63,514	4,777	58,737
②管理費	(5,665,029)	(6,657,213)	(△ 992,184)
給料手当	1,052,467	1,030,405	22,062
福利厚生費	384,964	410,674	△ 25,710
役員報酬	33,411	311,836	△ 278,425
会議費	4,400	508,368	△ 503,968
旅費交通費	30,321	180,169	△ 149,848
通信運搬費	163,454	167,545	△ 4,091
維持費	125,708	116,694	9,014
業務委託費	1,749,550	1,703,140	46,410
支払手数料	218,523	200,747	17,776
印刷製本費	115,737	135,345	△ 19,608
租税公課	715,800	76,100	639,700
雑費	871,902	1,618,904	△ 747,002
賃借料	198,792	197,286	1,506
経常費用計	24,145,196	25,240,457	△ 1,095,261
当期経常増減額	1,829,640	△ 342,143	2,171,783
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	1,829,640	△ 342,143	2,171,783
一般正味財産期首残高	27,815,838	28,157,981	△ 342,143
一般正味財産期末残高	29,645,478	27,815,838	1,829,640
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	21,494,301	15,241,815	6,252,486
一般正味財産への振替額	△ 15,516,371	△ 15,241,815	△ 274,556
当期指定正味財産増減額	5,977,930	-	5,977,930
指定正味財産期首残高	1,047,972,150	1,047,972,150	0
指定正味財産期末残高	1,053,950,080	1,047,972,150	5,977,930
III 正味財産期末残高	1,083,595,558	1,075,787,988	7,807,570

財 産 目 録

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)					
現金預金	手元保管現金	運転資金として	143,640		
	普通預金 三菱東京UFJ銀行 麹町支店	運転資金として	1,090,870		
	普通預金 りそな銀行 新都心営業部	運転資金として	1,377,808		
	普通預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	運転資金として	4,689,935		
	当座預金 ゆうちょ銀行	運転資金として	6,068,962		
	売掛金	KIDS乳幼児発達スケール売上等	収益事業に係る事業収益の売掛分	1,210,704	
商品	KIDS乳幼児発達スケール等の商品棚卸高	収益事業の用に供している。	1,033,220		
流動資産合計			15,615,139		
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	国債 第59回利付国債(20年)	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		社債 第1回ソフトバンク無担保社債	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	6,000,000	
		外国債券 ダイワ10604(商船三井)	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 シルフリミテッド シリーズ50157	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	50,000,000	
		外国債券 ノムラヨーロッパファイナンスエヌブイ NO.42186	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ルカイミテッド シーズ 80050	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	99,700,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンス NO.80591	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンスエヌブイ NO.58839	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンスエヌブイ NO.58846	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンスエヌブイ NO.59178	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンス NO.80426	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		外国債券 ムラゴローパファイナンスエヌブイ NO.52869	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	100,000,000	
		定期預金	定期預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	5,000,000
		普通預金	普通預金 三菱東京UFJ銀行 麹町支店	運用益を公益目的事業及び管理運営業務の財源として使用している。	300,000
		普通預金	普通預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	2,000,000
特定資産	普通預金	普通預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	法人会計の財源として使用している。	5,977,930	
その他固定資産	什器備品	事務所内機器・備品等	管理運営の用に供している。	1	
固定資産合計			1,068,977,931		
資産合計			1,084,593,070		
(流動負債)					
	未払金	未払印刷費等	222,221		
	未払法人税等	法人税、都民税及び事業税	715,800		
	預り金	給与・報酬等に係る源泉所得税	59,491		
流動負債合計			997,512		
固定負債合計					
負債合計			997,512		
正味財産			1,083,595,558		

公益目的保有財産の明細


財産種別	その他の公益目的保有財産	金額	
基本財産	投資有価証券		
	国債	第59回利付国債(20年)	50,000,000
	社債	第1回ソフトバンク(株)無担保社債	3,000,000
	外国債券	ダイワ10604(商船三井)	50,000,000
	外国債券	シルプリミテッド シリーズ50157	25,000,000
	外国債券	ノムラヨーロッパファイナンスエヌビイ NO.42186	50,000,000
	外国債券	レ カイミット シリーズ 80050	49,850,000
	外国債券	ムラカヨーロッパファイナンス NO.80591	50,000,000
	外国債券	ムラヨーロッパファイナンスエヌビイ NO.58839	50,000,000
	外国債券	ムラヨーロッパファイナンスエヌビイ NO.58846	50,000,000
	外国債券	ムラヨーロッパファイナンスエヌビイ NO.59178	50,000,000
	外国債券	ムラカヨーロッパファイナンス NO.80426	50,000,000
	外国債券	ムラヨーロッパファイナンスエヌビイ NO.52869	50,000,000
	定期預金	定期預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	2,500,000
普通預金	普通預金 三菱東京UFJ銀行 麹町支店	150,000	
普通預金	普通預金 みずほ銀行 市ヶ谷支店	2,000,000	
合計		532,500,000	

監 査 報 告 書

令和3年5月17日

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 眞帆子 殿

公益財団法人 発達科学研究教育センター

監事 近田 直裕 

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における
会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。
- (2) 事業報告及びその付属明細書は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。


以 上

監 査 報 告 書

令和3年5月17日

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 眞帆子 殿

公益財団法人 発達科学研究教育センター

監事 園田 常生 

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における
会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。
- (2) 事業報告及びその付属明細書は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上